

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取商業高等学校

重点項目	社会人等資質育成	提出日	令和 4年 4月 29日
------	----------	-----	--------------

1 学校目標
地域の産業経済界をリードし活躍する人材の育成
2 重点項目に係る目標
(1) 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける (2) 望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現に向けて努力する (3) 健康に留意し、学力向上と部活動に励む <数値目標> (1) <u>就職内定率、進学合格率ともに100%</u> 社会人として必要な学力やコミュニケーション能力に加え、入学試験や就職試験で求められる自己表現力も育成し、生徒の進路実現を達成する。 (2) <u>「学校行事に積極的に参加し、集団に貢献している生徒」及び「正しい身だしなみ実践し、自ら進んで挨拶をする生徒」が、それぞれ90%以上</u> 規範意識を高め、社会人として必要なマナーや集団における自身の役割を認識し、実際に行動できる社会人を育成する。
3 事業計画 (事業名、事業概要)
【独自事業】 <u>1 1年ビジネス基礎研修</u> (1) 実施時期：4月14日(木) (2) 対象：1年生全員 (3) 目的：本校で学ぶ目的や商業教育への理解を深め、2年次からの類型選択(商業・会計・情報・デザイン)等、3年間を見通した学習計画や進路設計の動機付けとする。また、社会生活を営むための身につけるべきビジネスマナー、礼法を習得する。 (4) 内容：①商業学科主任による教科「商業」の学習内容紹介及び類型説明。 ②外部講師によるビジネスマナー・礼法講習会。 <u>2 小論文指導対策(自己表現学習プログラム)</u> (1) 実施時期：通年 (2) 対象：本校教員・3年生全員 (3) 目的：本校独自の「自己表現学習プログラム」では、生徒が社会人として必要な自己表現力(読む、書く、聞く、話す)を育成するべく、3年間をかけた系統的な学習実践に取り組んでいる。このプログラムにおける「小論文指導対策」において、生徒が様々な文章を比較する過程で、自ら問題を発見・思考し、ま

(様式1)

た、自らの言葉で表現できる力を育成する。加えて、進路実現に際して求められる、文章表現力、プレゼンテーション能力等に対応できる言語運用能力を育成にもつなげる。

(4) 内 容：①教員対象の「小論文指導の方法」学習会

②3年生対象の「自己表現力育成講演会」

3 2年研修旅行（令和3年度はコロナ禍のため中止）

(1) 実施時期：10月5日（水）～7日（金）

(2) 対 象：2年生全員

(3) 目 的：①県内では触れることのできない産業界やビジネスの最先端を実際に見聞することを通して、生徒自身の視野を広げるとともに、進路意識の高揚につなげる。

②研修を機会に自身の職業観・勤労観を見直し、自己のキャリアプログラムを具体的に構想できるようにする。

(4) 内 容：東京都内のビジネス現場と各種上級学校を訪問。訪問先は日本有数の企業（東証一部上場企業）等であり、最先端の施設見学やビジネスの最前線が体験できる。各種上級学校は生徒の志望に沿って選択し決定する。

※枚数任意